

水田活用の直接支払交付金等各種支援メニューの 拡充・見直しが行われます。

令和4年産は、全国ベースで3.9万ha(21万ト)の作付転換が必要と見通されます。今回は、作付転換の際に活用可能な支援メニューのポイントをまとめました。地域における定着性・収益性の高い作物への転換の検討にご活用下さい。

★ R4年産作付転換のポイント

- ◎ **麦・大豆・加工業務用野菜など定着性・収益性の高い品目**や、**輸出用米など将来の需要増が見込まれる品目**への転換をまず検討しましょう。
- ◎ **中長期的に**どのような産地を目指すのかを関係者間で共有し、**主食用米に後戻りしない着実な作付転換**を進める計画を作成しましょう。

国では、食料自給率の向上に資する**麦・大豆などの戦略作物の本作化**や、**地域の特色を活かした魅力的な産地づくり、高収益作物の導入・定着等**を推進するための支援メニューを用意しています。

✿ 水田リノベーション事業

予算を大幅に拡充しました (R3補正410億円)

水田リノベーション産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための低コスト生産等に取り組む場合に、取組面積に応じて支援します。

◎ 支援内容

4万円/10a 子実用とうもろこし (新たに追加)

新市場開拓用米、麦、大豆、高収益作物 (野菜等)

※ 高収益作物及び麦・大豆については、加工用等の用途指定あり。

3万円/10a 加工用米



✿ 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト

◎ 採択要件の緩和

主食用米面積の減少自体は要件とするが、主食用米の減少面積が、麦・大豆の増加面積を必ずしも超えていなくてもよい。

※ 主食用米面積を麦・大豆の増加分以上に減少させる産地はポイントで優遇あり。



◎ 支援内容の拡充

“生産性向上を図るための新規技術導入”について、**湿害対策技術を2つ以上選択可能**とし、**化学肥料・農薬の低減**や**ドローンによる生産性の高度化・省力化等**をメニューに追加

令和4年度水田活用の直接支払交付金の拡充・見直し事項

◎ 新たな支援措置

新市場開拓用米の複数年契約加算

(1万円/10a)

- ※令和4年産から締結した3年以上の契約
- ※令和4年度における支援であり、契約期間中毎年度の継続支援を約束するものではありません。

地力増進作物への支援(2万円/10a)

計画的な地力増進作物(緑肥等)による
土づくりの取組みに対する支援
 ※地域協議会ごとにみて、前年からの拡大面積または水稲作付面積の前年度からの減少分の内いずれか小さい方が配分対象

◎ 支援内容の見直し

飼料用米・米粉用米の

複数年契約加算(6千円/10a)

複数年契約の取組率が約9割に達していることから、令和2年・3年からの継続分のみを対象に支援。令和4年からの新たな取組は対象外。

多年生作物(牧草)への支援

(播種～収穫の年：3.5万円/10a)

収穫のみの年：1万円/10a)

生産コストを踏まえ、**播種を行わず収穫のみを行う年の単価**を見直し

畑地化支援(高収益作物17.5万円/10a、その他作物10.5万円/10a)

高収益作物による畑地化を加速させるため、単価を見直し。

◎ 交付対象水田の見直し

- ・H29年から運用されている現行ルール¹の再徹底。
 【現行ルール】以下のいずれかに該当するものは、交付対象水田から除く。
 - ・灌漑設備(畦畔等)を有しない農地
 - ・用水路等を有しない農地
- ・現場の課題を検証しつつ、今後5年間(令和4年～8年)に一度も水張り(水稲作付)が行われない農地は交付対象水田としない方針。

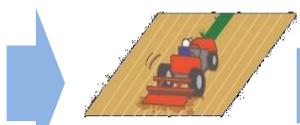
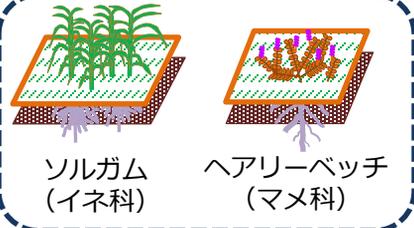
今後5年の間に、各地域において今後の産地形成をどのように図っていくのか、検討をお願いします。

- ・畑作物が固定化した農地の畑地化
- ・水田機能を有しつつ麦・大豆等を生産する農地は、連作障害回避のためのブロックローテーション構築 など

作付転換の新たな選択肢 地力増進作物の活用

地力増進作物は、少ない労働力の投入で、農地の地力増進に寄与できます。

地力増進作物(例)



すき込み
 ⇒ 土壌への有機物供給
 土壌条件の改善

翌年度以降

水稲以外の高収益な作物栽培に転換し、収益アップを目指す。

化学肥料の削減による環境配慮、省力化・コスト減を目指す。

有機農業に取り組み、環境配慮と生産性を両立する持続的な農業を目指す。

この資料に関するご意見、ご要望等がございましたら、ご遠慮なく右記連絡先あてご連絡ください。

ご連絡先：東北農政局宮城県拠点
 担当：経営所得安定対策(需給調整)チーム
 TEL 022-221-1105
 E-mail miyagikeian@maff.go.jp